

令和2年度学校と企業のニーズをマッチングした新たなモデル事業創出業務委託 仕様書

1 目的

本市では平成30(2018)年3月、企業をはじめとするさまざまな関係者とともに、今後も川崎臨海部が発展し続け「力強い産業都市づくり」の中心として、世界の規範となるような地域を目指し「臨海部ビジョン」を策定した。その内、直近10年以内に取り組む具体的な13のリーディングプロジェクトを定めており、その1つ「企業活動見える化プロジェクト」において、臨海部に良いイメージを定着させ、就業者や市民から誇りをもってもらうことで、就職希望者の増加にもつなげることを目指している。また、「川崎臨海部のブランディングを戦略的に進めるための基本的な考え方」を取りまとめ川崎臨海部が“自己実現ができるエリア”であることを特に次世代を担う子どもたちに対し見せることで、「かっこいい」「ワクワクする」イメージをつけ、ここで“働きたい、働き続けたい”と思ってもらえるような取組を進めている。

その一環で、令和3年度にはモデル事業として、高校生を対象に、生徒たちが学んでいる技術や知識が社会にどのように生かされていくのか、実際の企業活動においてその技術や知識を発揮し、川崎の産業だけではなく日本や世界に貢献している就業者の姿を見て、知って、経験できるような場をつくり、生徒が現実的な将来像をイメージすることができるように展開していきたいと考えている。

令和3年度からの高校のカリキュラムに組み込めるよう、令和2年度の本業務において、学校と企業のニーズをマッチングした新たなモデル事業の企画立案を委託し、生徒の将来の選択肢の幅を広げるとともに、高校生をはじめとする多くの若者の川崎臨海部に対する認知度向上を図るものとする。

2 モデル事業の必須事項

令和3年度に実施するモデル事業について、以下を必須事項とする。

- (1) 工業科を有する唯一の市立高校である川崎市立川崎総合科学高等学校の1年生を対象とすること
- (2) 生徒が自分の将来の働く姿がイメージできる企画とすること
- (3) インターンシップ参加など、自分の技術や知識を活かし働くことへの意欲喚起に繋がる企画とすること
- (4) 単年度で終わるものではなく、継続して行える企画とすること
- (5) 学校と企業間の関係性を深化・継続させる企画とすること

3 内容

モデル事業の全体企画・設計

- (1) 学校と企業のニーズの把握(学校:1校以上、企業:5社以上を想定)
- (2) 高校生の意識調査(就労への意識調査・動向把握・情報収集手段の把握やモデル事業に対する要望等)・分析、検証
- (3) インターンシップ等、高校生の就職を取り巻く環境についての情報収集・分析
- (4) 学校と企業の関係性を構築するための接点づくり(2回程度)

(5) モデル事業企画立案

成果物として、令和3年度から実施可能となるモデル事業の企画書(複数年にわたって実施するにあたり、2年後・5年後・10年後の達成目標や中長期的な達成プロセスを含む)、スケジュール表、見積書を提出すること。企画書(案)一式を一度、令和2年12月末までに提出し、その後、市との調整を経て履行期限までに企画書等を完成させること。

(6) 実施後の課題や効果を把握し、検証・改善を行うための効果的な手法の提案

4 報告書の作成

契約期間内に実施した業務を報告書にまとめ、契約期間終了時に3部提出すること。併せて本業務において作成した電子データすべてをDVD-R等の媒体に収め、2枚提出すること。

5 履行場所

川崎市川崎区宮本町1番地

川崎市臨海部国際戦略本部臨海部事業推進部 ほか

6 履行期間

契約締結日から令和3年3月19日までとする。

7 留意すべき事項

- (1) 本業務に必要な機器、消耗品等に係る経費は受託者の負担によるものとする。
- (2) 本業務に基づいて作成された成果物は、すべて本市に帰属するものとする。
- (3) 本業務の実施にあたり、本仕様書に疑義が生じたとき、本仕様書により難しい事由が生じたとき、あるいは本仕様書に記載のない細部については、本市と速やかに協議しその指示に従うものとする。
- (4) 成果物の引き渡し後に不良箇所が発見された場合は、委託者の指示により補足修正を行う。なお、これに係る経費は受託者の負担によるものとする。